

令和5年度第2回小合・金津・小須戸圏域支え合いのしくみづくり会議報告

日時：令和6年2月7日(水) 10:00～11:30

会場：金津地区コミュニティセンター

【出席者】

金津コミ協：青木会長、小須戸コミ協：五十嵐福祉部員、山の手地区社協：栗山副会長、小合民児協：古田会長、田村副会長
金津民児協：茨木会長、小須戸民児協：米田会長、老人クラブ 大鹿・ときわ会：吉田会長、こすどプラチナネットワーク：大貫代表
地域包括支援センターこすど：保苺センター長、秋葉区健康福祉課高齢介護担当：明間主査、今井係長(行政担当者)
秋葉区社協：横山事務局長補佐(事務局)、藤田地区担当、小林 SC (1層)、吉岡 SC

1. 今年度のふり返り

取り組み	内容
支え合いのしくみづくりの周知について	・わかりやすい言葉や事例を入れてサロン(19カ所)に周知した。 ・小合小学校(4年生)における福祉学習。(高齢者・サロンについて)

ご意見

- ・支え合いについて未来ビジョンなど様々なところで、同じような内容になっているので整理が必要。
- ・支え合い活動を行っているが「支え合い」の活動という部分を伝えることの難しさを感じている。
→周知が一番難しい。
- ・支え合いは他人事ではなく自分事として住民が考えることが大切。
- ・少しずつではあるが支え合いは進んでいる。
- ・若い世代や次の会長が参考になるような資料や文章で説明することができ、次につなげることができるのではないか。
- ・各地域の状況を考えながら取り組めるとよい。この圏域で必要なこと、できることを実践することで周知が広がるのではないか。
→周知が目的ではなく、組織作り(しくみづくり)をする必要がある。
→この圏域でできることを絞って、できることをやってみたらどうだろうか。しくみづくりなので効果を出すことが必要。
- ・各自治会・町内会の総会などで周知活動ができるとよい。
- ・地域にある関係団体も含め連携が必要。(コミ協、民児協、自治会・町内会など)
- ・サロンと自治会・町内会の連携が必要。
→自治会・町内会が関わることで活動が活発になり地域の見守りにもつながる。
→サロンは身近な居場所として大切な役割があり、困りごとの情報が集まるのでサロン中心に進めていくことが大切。
- ・視察研修や研修会など、他の地域の情報や活動を学ぶこともよい。
- ・高齢者に役割や期待を持ってもらうことが大切。

- ・子どもの時から福祉に関わることは大切であり、子ども達もなぜ福祉が大切で地域で支え合うことが必要かを考えている。
- ・包括への相談の中に窓ふきや畑の作業など介護保険では難しい課題もあるため、そのような生活支援が地域にあれば有難い。
- ・行政も一緒に進めていってほしい。

2. 令和6年度の取り組みについて

取り組み1：支え合いのしくみづくりの周知

ご意見

- ・支え合いのしくみづくりの周知、実践をテーマにして次年度も継続して進めていく。
 - ・自治会・町内会で周知していくことが大切。
 - ・各地域にあった周知内容の検討、自治会・町内会など小地域での周知について構成員と協力し進める。
- 令和6年度も支え合いのしくみづくりの周知については継続する。

取り組み2：圏域全体の取り組みについて

◎支え合いのしくみづくりの周知についてサロンを回ったところ、新規参加者が少ない、後継者不足、サロンへの移動手段に関する不安があるなど様々な課題があることがわかった。このような悩みを誰かに発信することでアイデアが生まれたり協力者がでてきたり、誰かに聞いてもらうことで気持ちが軽くなることもあると思います、今年度取り組めなかった圏域全体の取り組みとして次年度にサロン情報交換会を案として出し、意見をいただいた。

ご意見

- ・成功例や前向きな情報を伝えることができる。悩みがあるサロンにアドバイスできる。
金津地区社協の茶の間「いっぷく」：タクシーを使った移動支援を行っている。
だんだん・嶋岡：デイサービスセンター緑花園の協力で現在茶の間に高齢者の移動支援を行っている。
 - ・耳が遠くなった方がいて参加しづらい状況がある。
 - ・会議のための会議になってはいけない、このような取り組みを行うための会議ならよい。実践することが大切である。
 - ・月に1回金津では意見交換(情報共有)を行っている。皆で意見を言い合う場があることでよりよい地域づくりにつながっている。
 - ・過去にサロンの交流会をしたことがあり、とても好評で100名集まった。次回の開催も期待されているが実施できていないので、これを機にやってみてはどうだろうか。
 - ・この圏域に共通した困りごとがあれば取り組めるのではないか。
- 令和6年度の圏域全体の取り組みについては次回の会議で検討していく。(サロン情報交換会など)

その他(情報交換会の内容について)：認知症について当事者の声を聞く機会があるとよい。